

運転好きの極み、大型トレーラー操る“トラガール”

平野ロジスティクス・福岡営業所 松田久美子さん / 山口真美さん

「とにかく運転することが好き」。こう口をそろえるのは、航空貨物の空港間OLT輸送（保税転送）のリーディング・カンパニーである平野ロジスティクスの福岡営業所で、国土交通省が言うところの“トラガール”（女性トラックドライバー）として活躍する、松田さんと山口さんだ。

「男性の仕事」と思われがちなトラックドライバー。近年、女性ドライバーが増えつつある中で、平野ロジスティクスでも女性ドライバーが多数活躍している。女性が営業所にいると雰囲気華や



お酒を飲むことが好きという松田さん。運行がない休みの日は、福岡随一の歓楽街である中洲などで、飲み食べ歩きをするのが楽しみのひとつだそう

ぐだけでなく、顧客からの評判も良いのだとか。

同社では、航空貨物事業に特化したトラック・トレーラーや一般貨物用の中型・大型トラックなどをラインナップしているが、おふたりが常日頃ハンドルを握るのは、半導体製造装置やフレイターに搭載する大型・背高貨物などの輸送に力を発揮する同社オリジナル・セミトレーラーの“+1α”。

松田さんは福岡～熊本間をメインに九州管内の横持ちを、山口さんは九州から関西、関東までの長距離を主に担当している。

「大型免許は取得済みでしたが、トレーラー免許（牽引免許）は昨年取得したばかり」という松田さん。

平野ロジスティクスに入社する以前から、大型の冷凍車輸送を経験後、スモールパッケージの小口配送業務を10年以上務めるなど、ドライバー歴は豊富だ。しかし、大型トレーラーを運転するためには牽引免許を取得するだけでなく、運転技術や知識を身につけることも必要だ。

一般的には、小型の1トン車から中型、大型と、スキルアップして辿り着くのがトレーラー運転手だと言えるのだが、松田さんの場合、商用車バンから、日本で走れる最大の車両へ一気に飛び級してしまったのだ。「トレーラーを運転して怖いと思ったことはないですが、大変な点はその大きさから停車する場所がないこと」と語る。

松田さんにとって大型トレーラーは“ファン・トゥ・ドライブ”だが、積み下ろし作業員との作業も楽しみのひとつ。「ただ荷物を積み下ろしするだけでなく、やりとりしながらの会話が好き」と、人とのコミュニケーションを大事にしている。

そんな松田さんは、子育てに奮闘するママさんドライバー。平野ロジスティクスでは、「ドライバーのライフスタイルに合わせたシフトやプランを用意している」（益子研一・取締役営業本部長）というように、女性でも働きやすい環境作りに努めている。

「無理のない運行管理のおかげで、安心して業務に打ち込めています。今は九州管内の短距離ですが、子どもが成長し、手が離れる頃には長距離もいいかも」と意欲を見せる。

一方の山口さんは入社2年目、益子取締役も「運転技術は我が社でもトップクラス」と太鼓判を押す、期待の若手ドライバーのひとりだ。

山口さんは、平野ロジスティクス入社前、九州域内でトラックを運行していたが、転職が訪れたのは3年前。同社関東支店のトラックドライバー募集の求人を目にしたのだ。「スカニア製のトレーラーヘッドはもちろん、これまで見たことないオリジナル・トレーラーに衝撃を受け、どういう貨物を搭載しているのか、どうやってウイングを開けるのか、など興味津々でした」

トレーラーの運転以外に興味があるのは“ヨガ”だという山口さん。休日にはヨガでリフレッシュ、体調管理も万全だ



福岡でも募集があれば良いなと思っていたが、その3年後に突如、同社福岡営業所の求人が飛び込んできた。その瞬間、これは運命だと感じ、即応募。そしてその履歴書が益子取締役の目に留まり、採用に至ったというわけである。

山口さんが担当する空港間OLTでは、福岡～関西、関東、関西～中部、関東などあるが、福岡～成田間が最長だ。福岡を出発して関西、岡山あたりのSAで1泊し、約2日かけて成田まで走りきる。

長距離ドライバーは、ひとたびハンドルを握ると、孤独、時間、睡魔との戦いを強いられる。「4時間走ったら30分の休憩」という規則がある中で、休憩時間は貴重なリフレッシュタイム。車内で大好きなYouTube、ドラマ、映画などを見て気分転換することも欠かさない。

さらに、ことしは日本各地で積雪が頻発し、高速道路や国道などで、多数の車が巻き込まれる立ち往生が相次いだ。山口さんも2月初旬、積雪により新横浜のインターチェンジで立ち往生。幸いにも4時間程度で切り抜けられたが、「一晩くらい長く感じた。良い経験でした」と振り返る。

仕事と子育てを両立するママトラガールと若手実力派トラガール。日々経験を積み上げている平野ロジスティクス・福岡営業所の看板娘たちだが、トラックドライバーとしての挑戦は続く。■



設立10年、事業拡大で関東支店管轄から完全独立へ

半導体産業が盛んな九州地域でサービスを提供している平野ロジスティクス・福岡営業所。大型トラックとオリジナルトレーラー“+1α”を主軸に着々と実績を積み上げてきたが、こし設立10周年を迎え、一層の事業拡大に向け邁進する。



平野ロジスティクス・福岡営業所の田中法雄・所長(右)と二宮智幸・所長代理(左)

平野ロジスティクス・福岡営業所
住所：〒812-0858 福岡市博多区月隈2-5-35 エスフラット月隈6号 TEL:092-586-8915 FAX:586-8916

平野ロジスティクス・福岡営業所は、福岡空港の近接地(福岡市博多区)に拠点を置き、成田/羽田/中部/関西/福岡と5ヵ所を結ぶ空港間OLTの定期混載のほか、福岡空港発着貨物の九州管内への配送サービスなどを提供している。

航空貨物から一般貨物まで、幅広い顧客ニーズに柔軟に対応しているが、主な取扱貨物は電子部品/半導体関連/自動車部品など。現在、電気メーカーの仕事を受託していて、特に東京向け(成田空港および東京港)の荷動きが活発化しているという。

福岡営業所には大型トレーラーの+1αを5台、トラックでは大型1台、2トン1台、1トン3台を配備。ここでは主に+1αと大型トラックが活躍している。中でも+1αは、ターボリンシートと呼ばれる幌状のものがカーテン式に横に開閉する仕組みにより、トレーラーの側面が大きく開いて、大型機械の荷役が容易にできるのが特徴だ。

福岡営業所は、顧客のリクエストが多かった東京~福岡

間のトラック輸送ニーズに応えるため、益子研一・取締役営業本部長が関東支店の出先機関として2012年5月に立ち上げたものだ。

同営業所は設立10周年を迎えることし、関東支店傘下から外れ、完全に独立した事業体系となる計画だ。「メーカーの仕事も好調で、コロナの影響でフライトがなくなっている分、OLTも増えている。これまで10年間やってきましたが、素晴らしいドライバーに恵まれ成長し、いまようやく軌道に乗ってきました」と益子氏。

福岡営業所では、事業拡大に対応するため、すでに福岡ナンバーのトレーラーをさらに3台発注済みで、ことし中に+1αのラインアップを8台体制に拡充し、一気に輸送力をアップさせる。さらに、事務所のスタッフも3名から5名に増やし、ドライバー11名(前頁で紹介した女性ドライバー2名含む)と合わせて計16名とした。

ことし転換期を迎える平野ロジスティクス・福岡営業所。事業拡大へ向けた体制作りは着々と進んでいる。

OLT Innovator, Hirano Logistics
新しい輸送の形を提案します。

+1α

「プラスワンアルファ」
背高&ワイドな貨物は“α”で!



背高もワイドもシート掛け不要

大型セミトレーラー車+1αは+1(96インチULD4台搭載可)と比べて長さ・高さが拡大。トレーラーの側面が大きく開き、大型機械の荷役が容易にできます。現在、長距離路線を中心に活躍しています。

KT 株式会社 **平野ロジスティクス**
Hirano Logistics Corporation



本社 078-994-0069 関東支店 0476-35-3600 東京営業所 03-6382-7768
成田空港出張所 0476-32-2981 東海支店 0538-42-9480 中部支店 0569-38-7208
関西支店 072-463-7455 関西空港営業所 072-456-8470 神戸営業所 078-965-0918
福岡営業所 092-586-8915 www.hirano-logistics.com